

公認スポーツ指導者資格の種類と役割

指導員

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別など指導対象に合わせた指導にあたる方のための資格です。

特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくりを主眼に置き、遊びの要素を取り入れた指導ができるようにカリキュラムを構成していることから、スポーツ少年団などで小学校期の子どもたちの競技別指導にあたる方にはぜひ取得していただきたい資格です。

認定により備えられる知識と能力

1. スポーツに関する基礎的知識
2. ボランティアに関する基礎的知識
3. 競技者育成プログラムの理念と方法
4. 初心者に対する基礎的指導法

上級指導員

地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる方のための資格です。

また、地域スポーツクラブなどが実施するスポーツ教室の事業計画立案などを学ぶことができるので、クラブ内指導者の中心的な役割を担う方、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて競技別指導にもあたる方、指導員を育成する立場の方にはぜひ取得していただきたい資格です。

認定により備えられる知識と能力

1. 競技者育成プログラムの理念と方法
2. 多様な能力やニーズに対する指導法
3. スポーツ教室や各種イベントの企画立案
4. 組織の育成に関する知識

コーチ

各競技団体の都道府県レベルにおける競技者育成を担当する方のための資格です。

広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる方、広域スポーツセンターの巡回指導に協力する方、国民体育大会の監督にあたる方など、高いレベルの実技指導をする方にはぜひ取得していただきたい資格です。

認定により備えられる知識と能力

1. 競技者育成プログラムの理念と方法
2. 国内大会レベルの競技者に対する高度な指導法

上級コーチ

国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして指導にあたるなど、中央競技団体におけるナショナルレベルのトップコーチのための資格です。

各競技団体のナショナルレベルのトレーニング拠点などにおいて、各年代で選抜された競技者の育成強化や各競技団体で競技力向上策の開発に参画する方などにぜひ取得していただきたい資格です。

認定により備えられる知識と能力

1. 競技者育成プログラムの理念と方法
2. 国内大会レベルの競技者に対する高度な指導法